

Ver.1.10 バージョンアップ情報(2024/9)

MEMOREAD(ver.1.10)の主な変更点は以下のとおりです。

詳細は各ページをご参照ください。

■新機能一覧(追加・変更された機能は以下の通りです)

3D モデル作成

- ポリラインのダイアログに「無効点のみ」「有効点のみ」機能を追加(p.2)
- ポリライン機能で複数端点移動が可能 (p.3)
- 点編集で複数点(三角網(TIN))移動が可能 (p.4)

テキストフラグ

- テキストフラグに「メモ欄」「LINK(複数可)」を追加(p.5)
- 2D 表示での引き出し線表示を追加 (p.6)

簡易断面

- TIN と点群が混在するデータに対応(p.7)
- 簡易断面に色設定を追加(p.7)

オプション

差分解析

- 色設定の「設定呼出」「設定保存」機能を追加 (p.8)
- 計算不能点に属性を付加する機能を追加(p.8)
- 差分色凡例の表示を追加(p.10)
- 点選択時に差分解析結果の出幅値表示を追加(p.10)
- 「MEMOREAD View」に「差分色凡例」「出幅値」の表示を追加(p.11)

オプション

Multi View

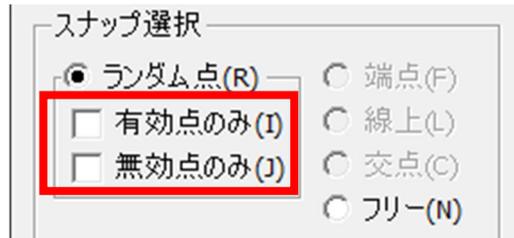
- オブジェクト設定の角度(方向・上下・左右)増減量を設定するコントロールを追加(p.11)
- オブジェクトを面に沿わせる機能を追加(p.11)

■新機能詳細

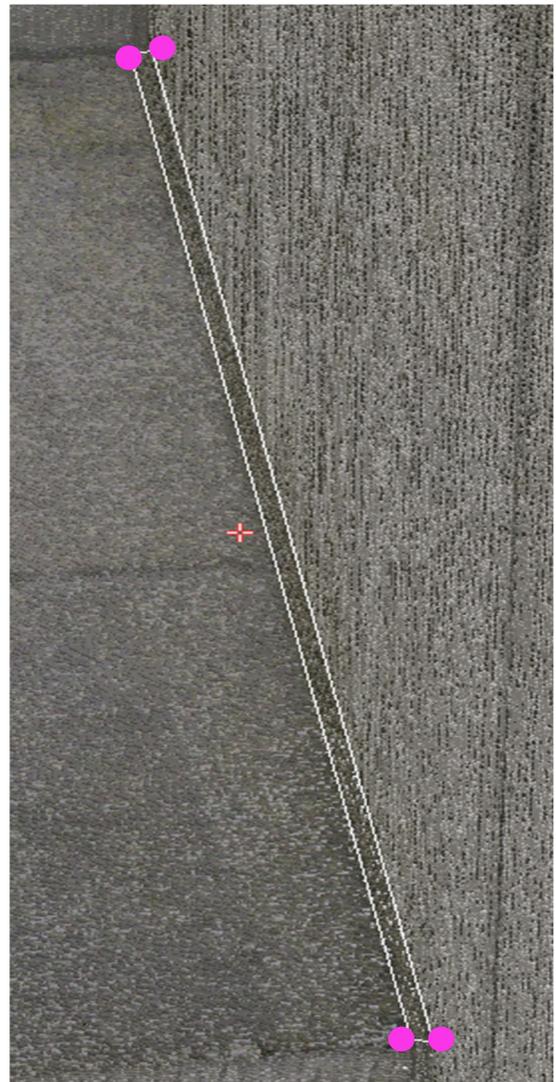
3D モデル作成

●ポリラインのダイアログに「無効点のみ」「有効点のみ」機能を追加 (>「ポリライン」)

ランダム点選択時に「無効点のみ」「有効点のみ」の選択が可能になりました。



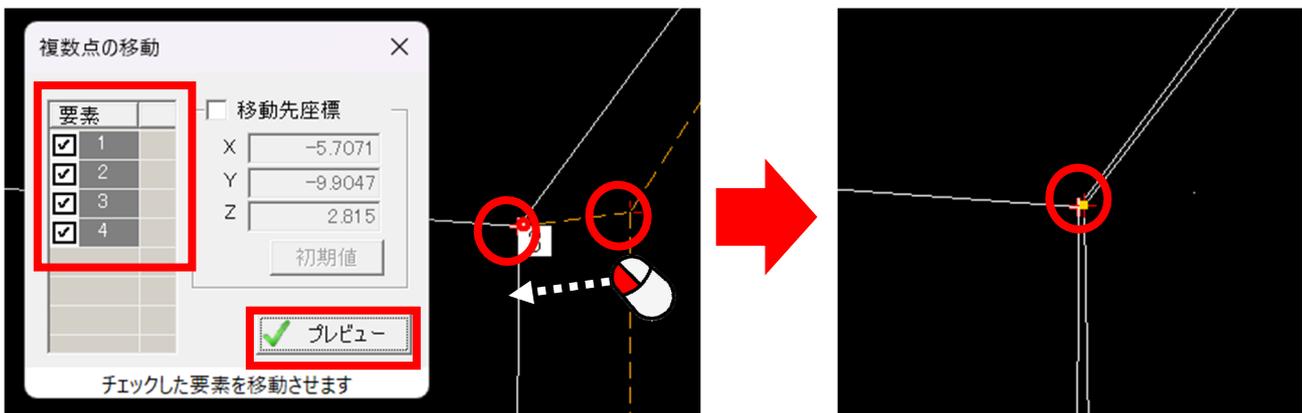
例:「無効点のみ」にチェックを入れると、ポリライン作成の際に無効点のみを選択することができます。



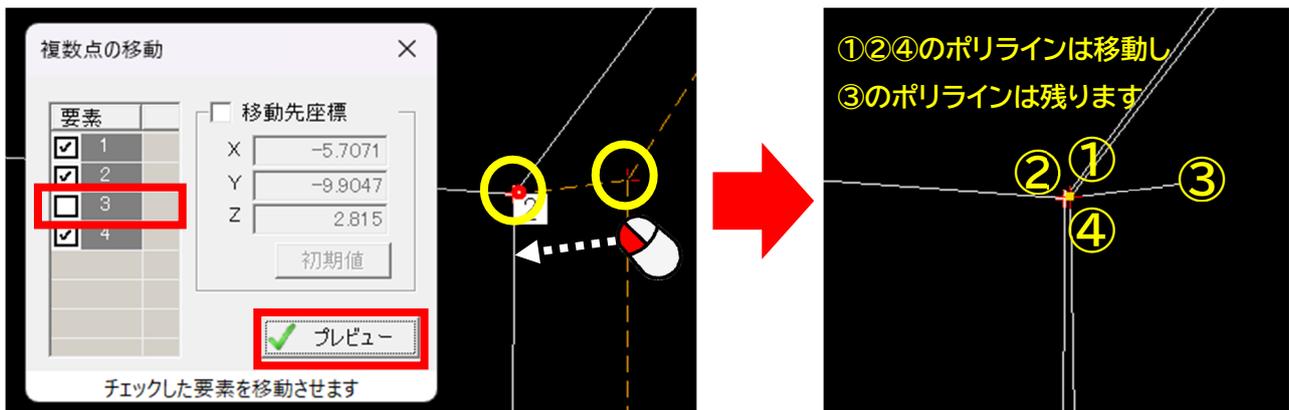
- ポリライン機能で複数端点移動が可能( >「ポリライン」>「端点編集」)
重複したポリラインの端点移動が可能になりました。



ドラッグ&ドロップで重複したポリラインの端点を移動してください。
「プレビュー」を押すと適用後のポリラインが反映されます。
※すべてチェックを入れると、一括でポリラインの端点が移動します。



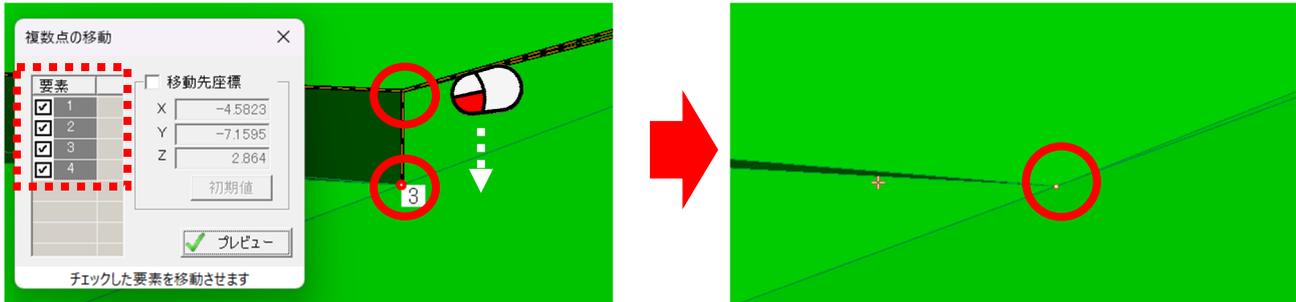
※チェックを外したポリラインは移動しません。(ここでは「3」のポリライン)



「プレビュー」を確定するには「はい」をクリックしてください。

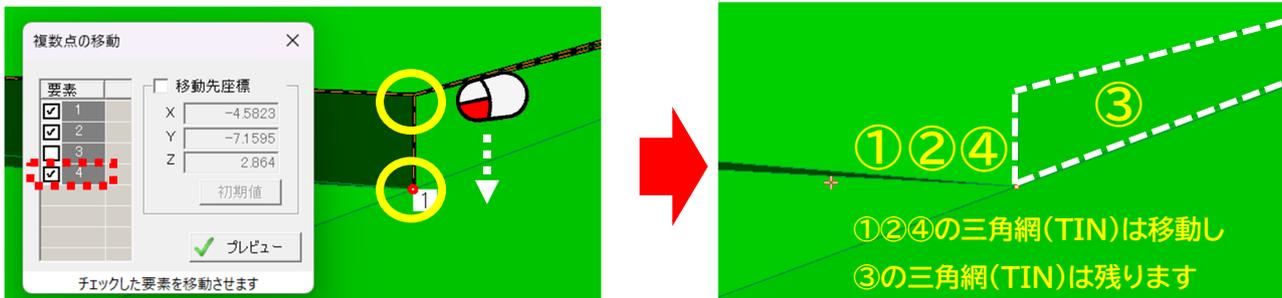
●点編集で複数点(三角網(TIN))移動が可能 ( 「点編集」)

ドラッグ&ドロップで重複した三角網(TIN)の端点移動が可能になりました。

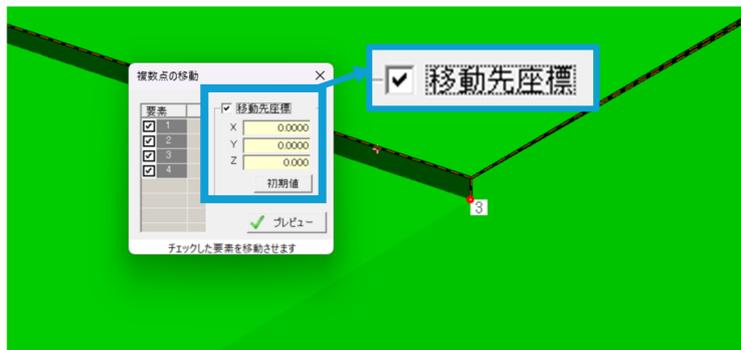


チェックを外した三角網(TIN)は移動しません。

(ここでは「3」の三角網(TIN)が残ります ※白色点線部分)



「移動先座標」にチェックを入れると、指定された座標位置(図では 0,0,0 と入力)に重複した三角網(TIN)の端点が移動します。



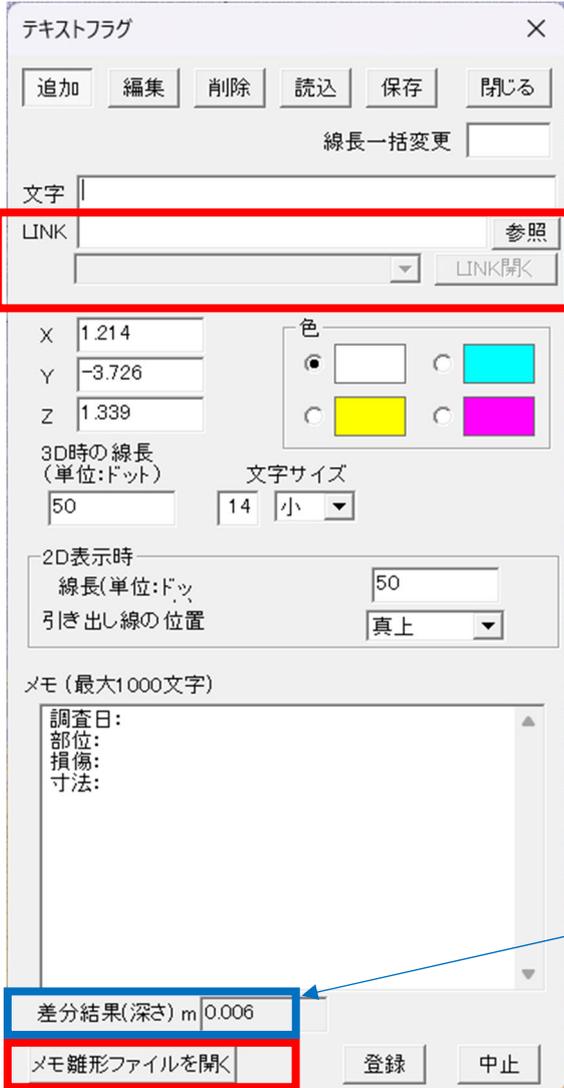
「プレビュー」を確定するには「はい」をクリックしてください。

テキストフラグ

●テキストフラグに「メモ欄」「LINK(複数可)」を追加 (>「追加」)

・LINK(画像、PDF、URL など)が複数追加可能になりました。

画像データを複数読み込む際は「参照」を選択し、「Shift」キーまたは、「Ctrl」キーを押しながら画像を選択してください。



テキストフラグ

追加 編集 削除 読込 保存 閉じる

線長一括変更

文字

LINK 参照

LINK開く

X 1.214 Y -3.726 Z 1.339

色

3D時の線長 (単位:ドット) 50

文字サイズ 14 小

2D表示時

線長(単位:ドット) 50

引き出し線の位置 真上

メモ (最大1000文字)

調査日:
部位:
損傷:
寸法:

差分結果(深さ) m 0.006

メモ雛形ファイルを開く 登録 中止

※画像、PDFなどは差分解析データと同じフォルダに保存してください。

※「参照」でLINK(画像、PDFなど)を選択する際は、ダブルクリックをせずに「開く」を押してください。

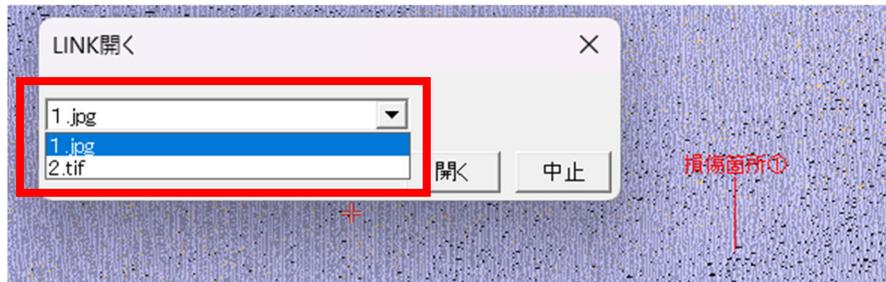
読み込んだデータが差分解析結果で、点にテキストフラグを立てる場合は、自動で差分結果(深さ)が表示されます。

・メモ欄を追加しました。

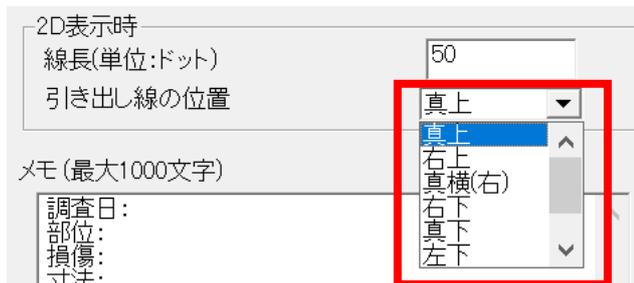
メモ欄に初期状態で記載される文字は「メモ雛形ファイルを開く」で開いたファイルの内容です。

初期状態に記載される文字を変更したい場合は「メモ雛形ファイルを開く」をクリックし、内容を書き換えてください。

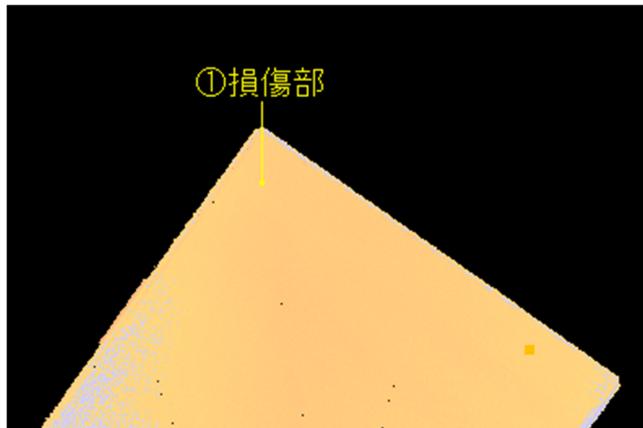
・複数 LINK(画像、PDF、URL など)を追加した場合、テキストフラグをクリックするとプルダウンメニューで画像などを選ぶことが可能です。



●2D 表示での引き出し線の追加



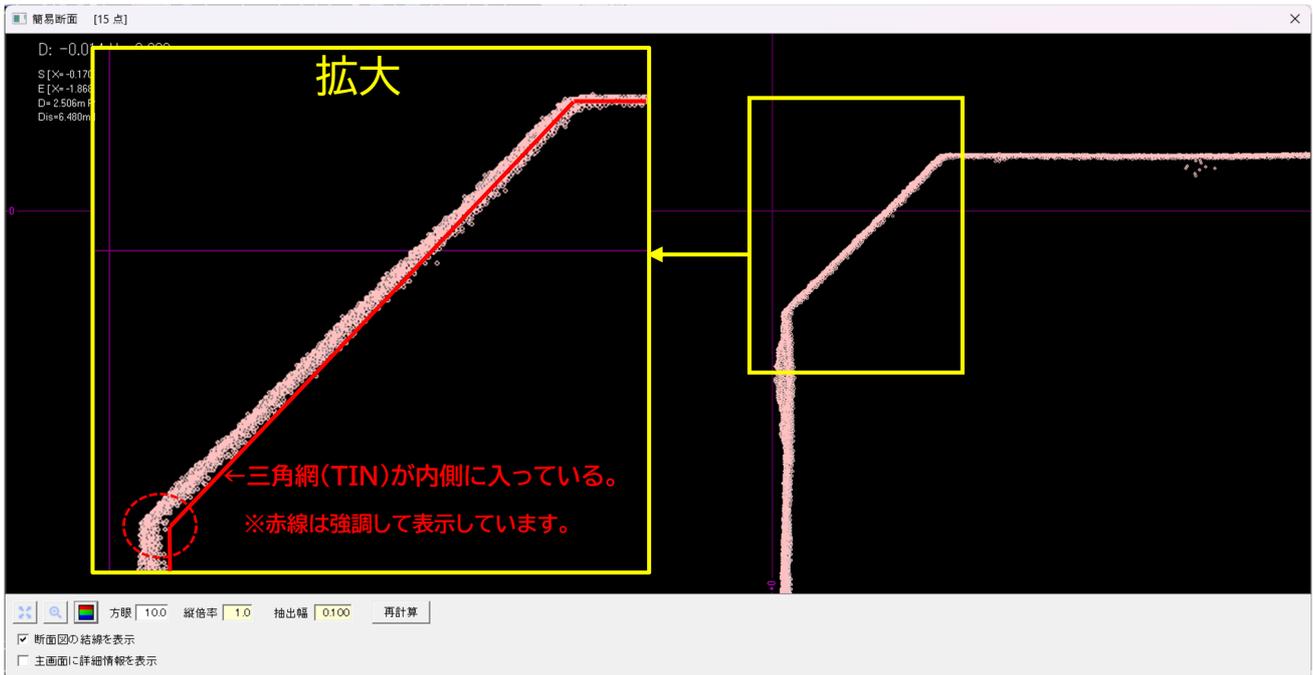
前バージョンでは3D 表示時のみ引き出し線の表示ができましたが、2D 表示時でも引き出し線の表示が可能になりました。



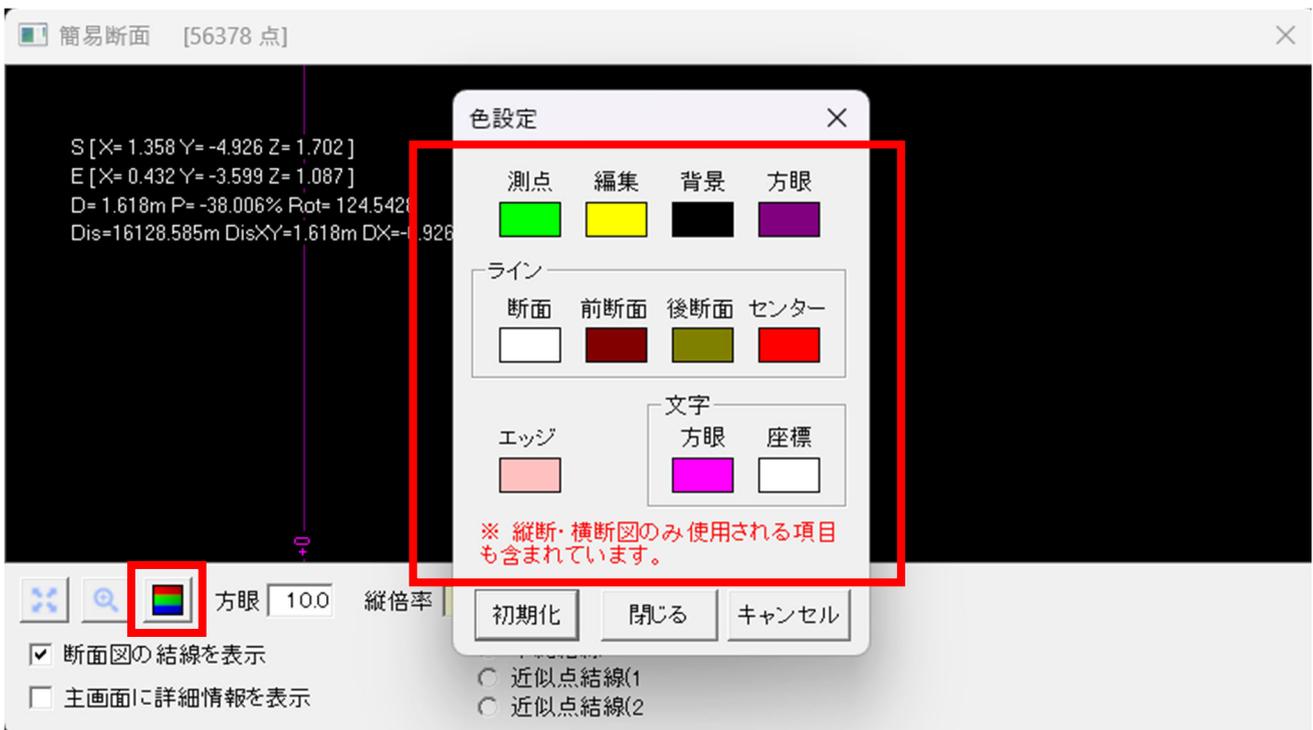
簡易断面

●TIN と点群が混在するデータに対応

点群と赤い線(三角網(TIN))で3Dモデルの精査にもご利用頂けます。

●簡易断面に色設定を追加( >「簡易断面」)

断面線や背景などの色のカスタマイズができるようになりました。  を押すと「色設定」が開きます。



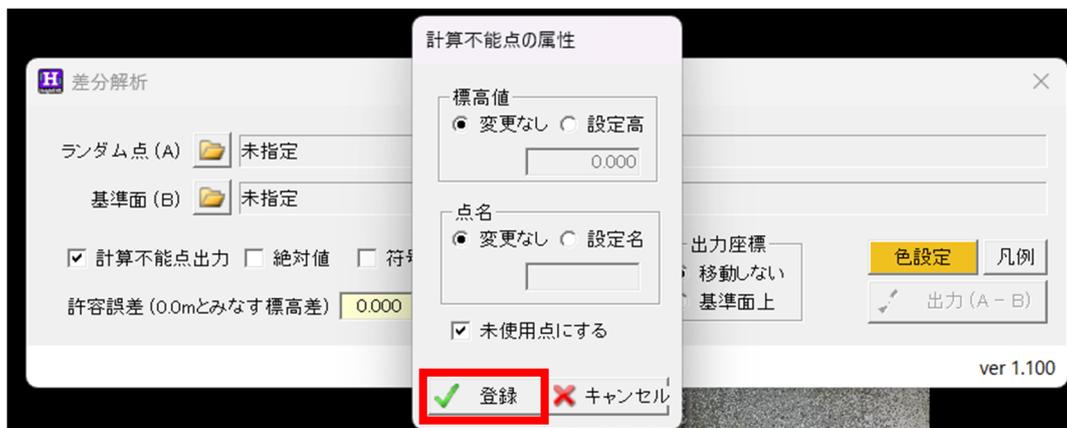
オプション

差分解析

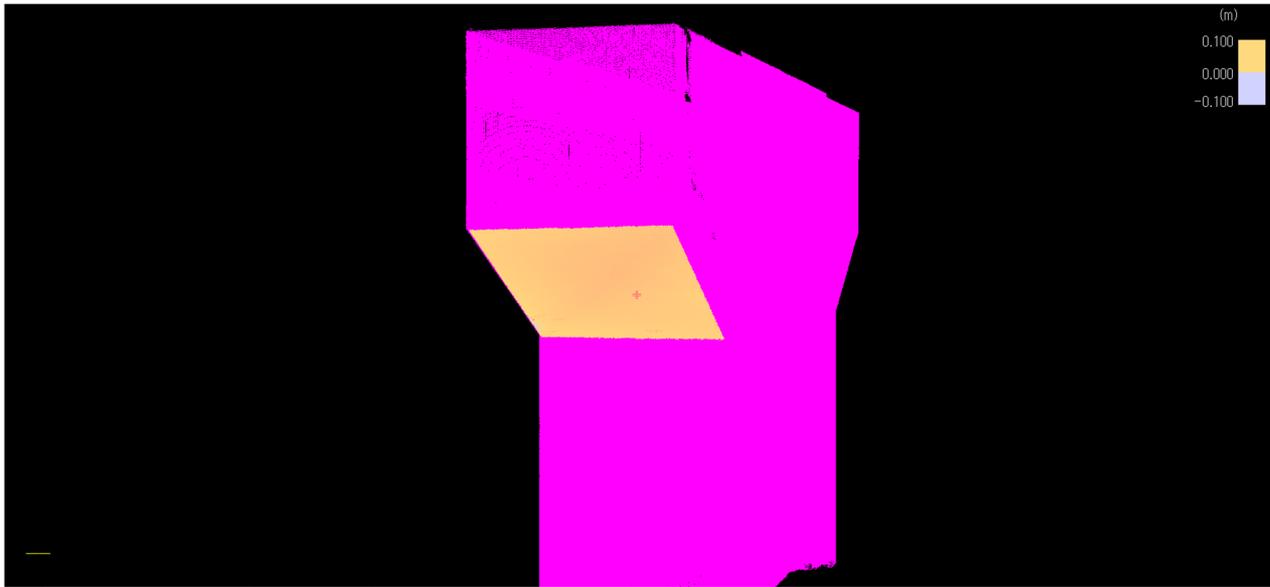
- 色設定の「設定呼出」「設定保存」機能を追加（ > 「色設定」 > 「設定呼出」「設定保存」）
カスタマイズした色設定の「設定呼出」「設定保存」ができるようになりました。
 - ・「設定保存」を押すと、指定のフォルダに「ini」形式ファイルとして出力されます。
 - ・「設定呼出」を押すと、保存された「ini」形式ファイルの読込ができます。



- 計算不能点に属性を付加する機能を追加（）
 - ・未使用点にチェックを入れる→TIN(三角網)以外の場所を未使用点で表示
 - ・「設定高」に高さ入力→差分解析対象以外の点群の高さを一律指定
 - ・「点名」に名前入力→差分解析対象以外の点の名前を一律指定



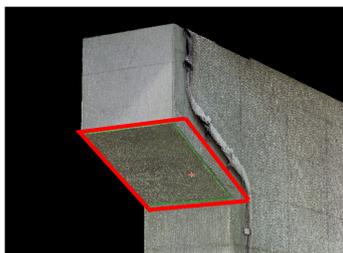
「未使用点にする」にチェックを入れて差分解析した結果



※【計算不能点出力とは】

部分的に TIN(三角網)を作成し「差分解析」をしたい場合に使用します。

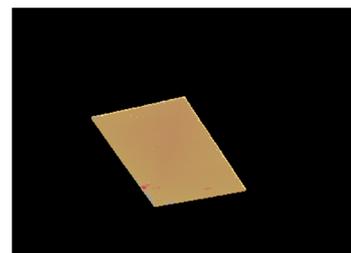
計算不能点出力にチェックを入れて差分解析をすると、TIN(三角網)がない場所も現況の点群で表示が可能です。



差分解析した部分



計測不能点出力チェックあり

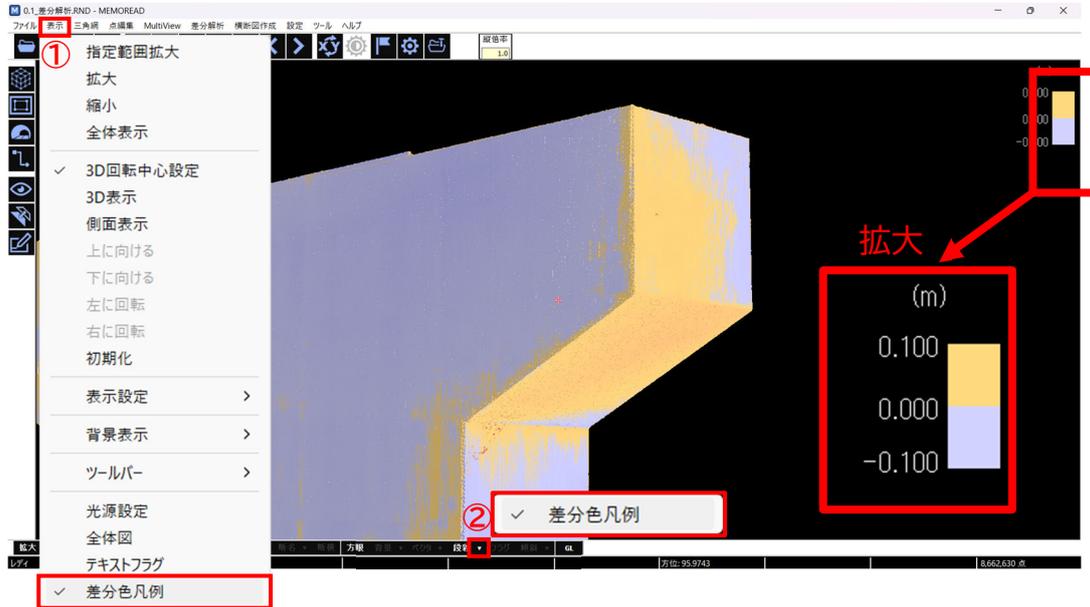


計測不能点出力チェックなし

●差分色凡例の表示を追加

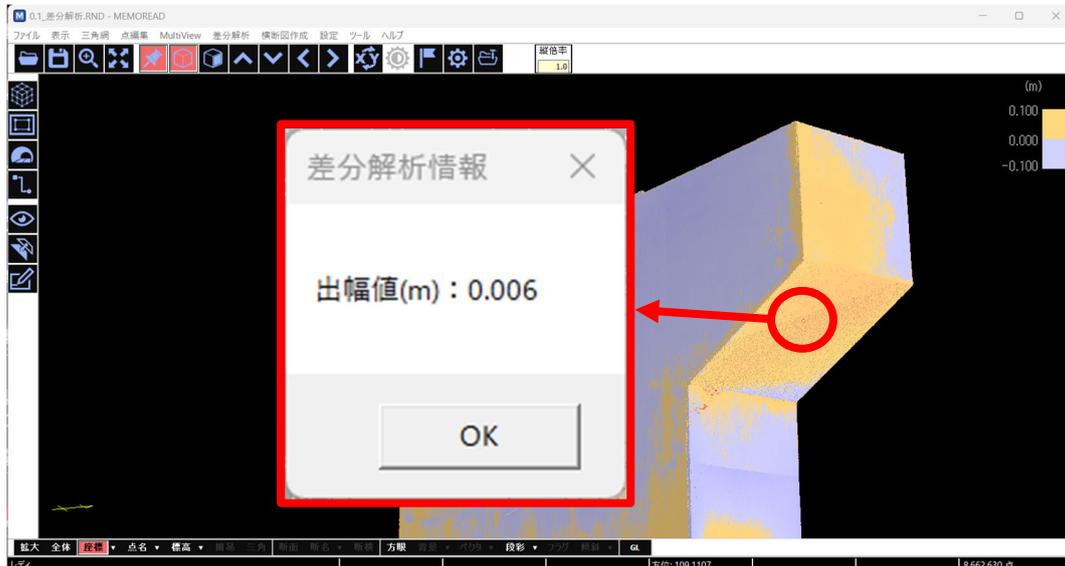
差分解析した結果の「RND」ファイルを開くと「差分色凡例」が自動で表示されるようになりました。
以下二つの方法で表示/非表示が可能です。

- ①上メニュー「表示」→「差分色凡例」
- ②下メニュー「段彩」▼→「差分色凡例」



●点選択時に差分解析結果の出幅値表示を追加

差分解析した点を選択すると出幅値(m)のダイアログが表示されるようになりました。



●「MEMOREAD View」に「差分色凡例」「出幅値」の表示を追加

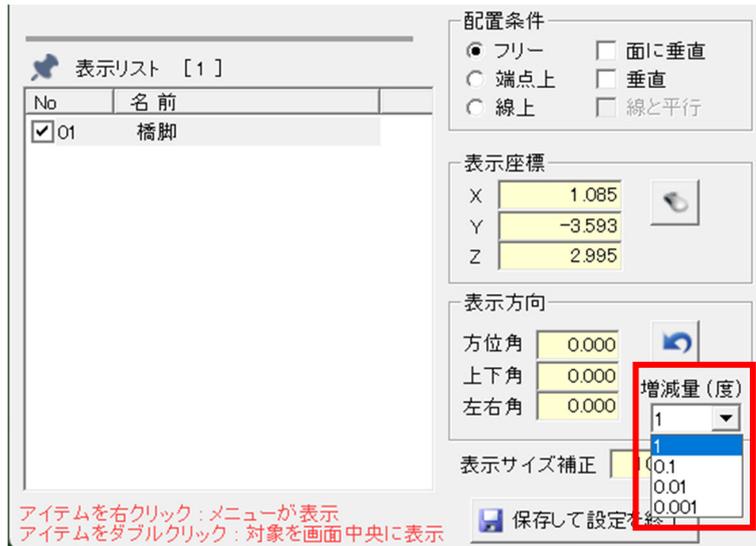
(上メニュー→ファイル> MEMOREAD View 配布用データ作成)

「MEMOREAD View」に変換後、配布先でも「色凡例」や「出幅値」が確認できるようになりました。

オプション

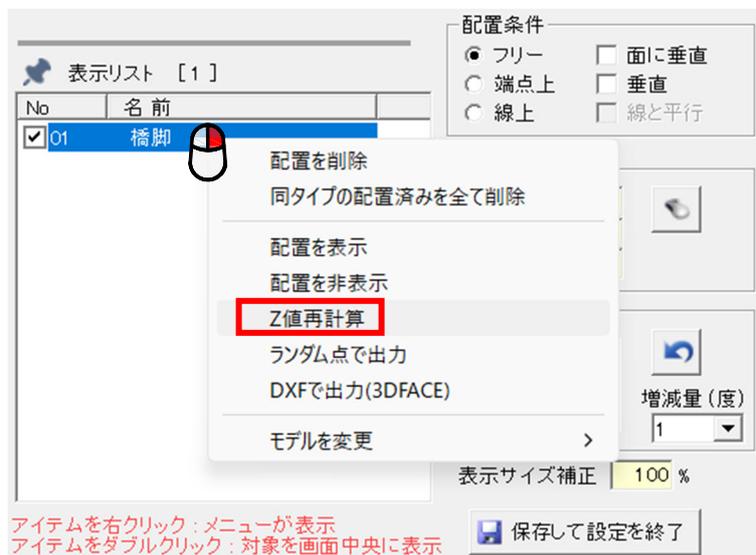
Multi View

- 「オブジェクト設定」の角度(方向・上下・左右)増減量を設定するコントロールを追加( > )
マウスホイールによる増減量が設定できるようになりました。



- オブジェクトを面に沿わせる機能を追加

オブジェクトの上で右クリックし、「Z 計算」を選択すると地形変化(面)に合わせてオブジェクトを面に乗せることができます。



■その他

●3D モデル作成

- ・「外周(選択)」する場合、「ENTER キー」で外周を閉じる仕様を追加
- ・回転中心の数値表示、直接入力 of XY 座標数値表示を小数桁 3 桁から小数桁 4 桁に変更

●簡易断面

- ・サンプリング断面で Low,High の数値の標高桁をプロパティの標高桁と同期するように変更
- ・点描画を高速化
- ・近時点結線時に Q キーによる処理中断機能追加
- ・マウスドラッグ時の P.(%)表記を鉛直距離／水平距離に変更
- ・抽出幅の初期値 0.2 から 0.1 に変更し、断面の各測点の上限を 50 万点に変更

●表示機能

- ・「背景ベクタ選択」で DXF を読み込む際、「UTF-8 DXF」のチェック ON/OFF 制御を追加

●その他不具合の修正